

品質性能試験報告書

発行番号：第10A0514号

試験名称		木造住宅用基礎に使用されるアンカーボルト「異形ナット付Wアンカー-M16」の引張試験	
依頼者		有限会社 宮田鉄工	
試験体記号	アンカー筋	木造住宅用基礎	数量
DWA	寸法：全長：260mm 埋め込み深さ：273mm 種類：異形棒鋼D13, SD295A	寸法：120mm×400mm×3000mm コンクリート：呼び強度：21 N/mm <sup>2</sup>	3
試験体			
(注) 1. 記載内容は、依頼者提出資料による。 2. 木造住宅用基礎は、基礎の立ち上がり部分(以下、基礎相当材という)を対象とした。 なお、材齢は28日で試験を行った。 参照：図-1 (試験体) 表-1 (コンクリートの圧縮強度試験結果及び配合) 表-2 (異形棒鋼の引張強度試験結果)			
概要：基礎相当材上面に埋め込まれたアンカー筋に力用鋼棒を取り付け、反力台、ジャッキ、球座及びロードセルを介して鉛直方向の引張荷重を連続的に加えた。その間、基礎相当材のひび割れ発生状況を目視観察によって行った。 加力装置：センサーホール型油圧ジャッキ 測定装置：センサーホール型ロードセル(容量：200kN, 非直線性：0.5%RO, ヒステリシス：0.5%RO) 電気式変位計(容量：50mm, 感度：200×10 <sup>-6</sup> /mm, 非直線性：0.1%RO), テークロガー 参照：図-2			
試験方法			
試験体 基礎相当材上面のひび割れ発生時 最大荷重時 変位 (δ max) mm 荷重 (Pmax) kN 変位 (δ) mm 荷重 (P) kN 記号 番号 記号 番号 基礎相当材の圧縮強度 N/mm <sup>2</sup>			
試験結果			
(注) 表中の圧縮強度は、表-1のものを示す。 参照：図-3 (荷重-変位曲線) 写真-1～写真-3 (破壊状況)			
試験期間			
平成22年 7月 9日			
担当者			
構造グループ 統括リーダー 高橋 仁 試験責任者 伊藤 嘉則 試験実施者 林 崎正伸 守屋 嘉晃 小山 博由			
試験場所			
中央試験所			

# 品質性能試験報告書

依頼者

宮田株式会社  
鉄工

愛知県岩倉市鈴井町蔵前4番地

試験名称 木造住宅用基礎に使用されるソカ-ポルト「異形ナット付Wソカ-M16」

の引張試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

財団法人 建材試験センター  
中央試験所長 黒木 健勝  
埼玉県草加市稲荷5丁目2番120号

